

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月13日
【四半期会計期間】	第18期第2四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第17期 第2四半期連結 累計期間	第18期 第2四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 6月30日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日
売上高 (千円)	2,555,313	3,016,273	5,197,102
経常利益 (千円)	549,465	358,982	264,088
四半期(当期)純利益 (千円)	322,532	291,057	188,643
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	374,547	264,405	275,599
純資産額 (千円)	4,315,015	3,788,413	3,616,093
総資産額 (千円)	5,763,441	5,456,603	5,747,880
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	6.72	6.34	4.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	74.9	69.4	62.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	461,703	15,532	797,133
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	152,603	1,076,824	61,654
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	122,266	96,417	726,194
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,321,205	3,221,349	2,271,300

回次	第17期 第2四半期連結会計期間	第18期 第2四半期連結会計期間
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	2.52	0.40

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は、平成26年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は次のとおりであります。

### <サイボウズスタートアップス株式会社>

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は当社が保有する株式の70%を売却したため、同社は連結子会社ではなくなりました。

また、当第2四半期連結会計期間において、サイボウズスタートアップス株式会社の増資により当社の持分比率が低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げにより個人消費や企業収益に落ち込みが見られたものの、各種政策の効果を背景に雇用と所得状況が改善したことにより、消費動向に持ち直しの兆しが見られる等、景気は緩やかな回復基調にありました。

このような状況の下、当社グループは引き続き、クラウド事業の拡大およびグループウェア製品の機能強化に注力しております。

業務アプリ構築クラウド「kintone」においてはプロセス管理機能の強化やプラグイン機能の搭載をはじめとするアップデートにより、より便利に高品質なアプリケーションを作成することが可能となりました。今後も、「kintone」をさらに便利にご利用いただけるよう、高頻度でアップデートを実施する予定です。

また、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するサービスの脆弱性を発見し報告いただいた方に報奨金をお支払いする「脆弱性報奨金制度」を新設いたしました。継続的にこのような取り組みを行うことで、脆弱性を突いた攻撃の可能性を未然に防ぎ、当社クラウドサービスの信頼性向上に努めております。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が引き続き積み上がり、連結売上高は3,016百万円（前年同期比18.0%増）となりました。営業利益については、従業員数の増加等による人件費の増加や、広告宣伝活動の積極投資等により347百万円（前年同期比37.8%減）、経常利益は358百万円（前年同期比34.7%減）となり、四半期純利益は、関係会社株式の売却益を特別利益に、震災関連の寄附金8百万円を特別損失に計上し、291百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

#### (2) 財政状態

第2四半期連結会計期間末の資産合計は、クラウドサービスへの投資によって、工具器具備品等の有形固定資産が57百万円増加し、ソフト開発等による繰延税金資産（固定）が64百万円増加するものの、未払賞与や未払法人税等及び配当金の支払いを行ったこと等により、現金及び預金が349百万円、繰延税金資産（流動）が139百万円の減少になったこと等から、前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、5,456百万円となりました。

負債合計につきましては、未払賞与や未払法人税等の支払いを行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ463百万円減少し、1,668百万円となりました。

また、純資産合計につきましては、第2四半期連結累計期間に291百万円の四半期純利益を計上し、94百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ172百万円増加し、3,788百万円となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前第2四半期連結会計期間末より900百万円増加し、3,221百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により支出された資金は、15百万円となりました。積極的な広告宣伝投資実施したことや、前期に計上した法人税等や賞与の支払いがあったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は、1,076百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったものの、定期預金の預入期間を短縮したことにより定期預金払戻による収入を計上したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により支出された資金は、96百万円となりました。これは、配当金の支払いによる支出があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は145百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
	193,428,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	52,757,800	-	613,810	-	976,765

(6)【大株主の状況】

平成26年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
畑 慎 也	東京都文京区	8,674,300	16.44
C b z サポーターズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目4番14号	8,000,000	15.16
サイボウズ従業員持株会	東京都文京区後楽1丁目4番14号	1,949,600	3.70
山 田 理	東京都文京区	1,862,500	3.53
中 野 博 久	京都市左京区	1,580,000	2.99
田 畑 正 吾	芦屋市	1,500,000	2.84
西 端 慶 久	東京都文京区	725,300	1.37
石 川 靖 明	東京都大田区	444,900	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	404,000	0.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	356,700	0.68
計	-	25,497,300	48.33

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式であり  
 ます。  
 2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、全て信託業務に係る株式であり  
 ます。  
 3. 上記のほか、自己株式が6,879,400株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,879,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,877,500	458,775	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	52,757,800	-	-
総株主の議決権	-	458,775	-

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽1丁目 4番14号	6,879,400	-	6,879,400	13.04
計	-	6,879,400	-	6,879,400	13.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,571,300	3,221,349
受取手形及び売掛金	845,153	881,808
仕掛品	5,067	1,322
原材料及び貯蔵品	13,234	17,544
繰延税金資産	166,990	27,264
前払費用	45,265	55,653
その他	22,128	12,131
貸倒引当金	786	723
流動資産合計	4,668,354	4,216,351
固定資産		
有形固定資産	318,521	376,041
無形固定資産		
のれん	319	-
ソフトウェア	97,784	88,794
ソフトウェア仮勘定	17,000	22,499
その他	8,422	7,903
無形固定資産合計	123,527	119,198
投資その他の資産		
投資有価証券	210,027	259,229
敷金及び保証金	153,055	150,980
繰延税金資産	263,148	327,523
破産更生債権等	3,525	23
その他	12,304	7,847
貸倒引当金	4,583	593
投資その他の資産合計	637,476	745,011
固定資産合計	1,079,525	1,240,251
資産合計	5,747,880	5,456,603
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,733	8,841
未払金	490,664	478,733
未払費用	468,713	149,479
未払法人税等	244,437	19,835
前受金	826,778	940,075
役員賞与引当金	22,000	-
その他	70,459	71,224
流動負債合計	2,131,786	1,668,189
負債合計	2,131,786	1,668,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,734,581	3,933,553
自己株式	1,799,953	1,799,953
株主資本合計	3,525,204	3,724,176
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,697	7,272
為替換算調整勘定	80,191	56,965
その他の包括利益累計額合計	90,889	64,237
純資産合計	3,616,093	3,788,413
負債純資産合計	5,747,880	5,456,603

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,555,313	3,016,273
売上原価	202,504	282,424
売上総利益	2,352,809	2,733,849
販売費及び一般管理費		
人件費	893,755	985,277
業務委託費	83,686	119,883
貸倒引当金繰入額	72	588
広告宣伝費	222,016	593,920
のれん償却額	957	319
その他	593,705	687,610
販売費及び一般管理費合計	1,794,193	2,386,423
営業利益	558,615	347,425
営業外収益		
受取利息	1,002	768
受取配当金	202	206
受取手数料	881	867
還付消費税等	6,535	5,551
その他	1,456	4,256
営業外収益合計	10,077	11,651
営業外費用		
為替差損	19,227	90
その他	0	3
営業外費用合計	19,227	94
経常利益	549,465	358,982
特別利益		
関係会社株式売却益	-	32,024
特別利益合計	-	32,024
特別損失		
固定資産除売却損	1,457	799
寄付金	12,000	8,000
特別損失合計	13,457	8,799
税金等調整前四半期純利益	536,008	382,207
法人税、住民税及び事業税	247,317	14,087
法人税等調整額	33,841	77,061
法人税等合計	213,475	91,149
少数株主損益調整前四半期純利益	322,532	291,057
四半期純利益	322,532	291,057

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	322,532	291,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,425	3,425
為替換算調整勘定	47,588	23,226
その他の包括利益合計	52,014	26,652
四半期包括利益	374,547	264,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	374,547	264,405

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	536,008	382,207
減価償却費	138,381	118,443
のれん償却額	957	319
固定資産除売却損益(は益)	1,457	799
関係会社株式売却損益(は益)	-	32,024
貸倒引当金の増減額(は減少)	72	4,053
受取利息及び受取配当金	1,205	974
売上債権の増減額(は増加)	45,859	42,437
たな卸資産の増減額(は増加)	1,158	564
仕入債務の増減額(は減少)	1,150	107
未払金の増減額(は減少)	57,181	19,249
未払費用の増減額(は減少)	47,833	315,534
前受金の増減額(は減少)	44,272	113,310
その他	18,003	18,416
小計	587,081	220,432
利息及び配当金の受取額	1,205	974
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	126,582	236,939
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>461,703</b>	<b>15,532</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	93,943	164,394
無形固定資産の取得による支出	57,847	35,791
投資有価証券の取得による支出	-	50,825
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	28,516
敷金及び保証金の差入による支出	1,653	1,168
敷金及び保証金の回収による収入	840	488
定期預金の預入による支出	1,300,000	-
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>152,603</b>	<b>1,076,824</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	122,266	96,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>122,266</b>	<b>96,417</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,703	14,825
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	220,537	950,049
現金及び現金同等物の期首残高	2,100,668	2,271,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,232,120	1,321,349

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、サイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため連結の範囲から除いております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため持分法適用の範囲に含めておりましたが、当第2四半期連結会計期間において、サイボウズスタートアップス株式会社の増資により当社の持分比率がさらに低下したため持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
現金及び預金	3,621,205千円	3,221,349千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,300,000	-
現金及び現金同等物	2,321,205	3,221,349

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	122,802	256	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月26日 定時株主総会	普通株式	94,509	206	平成25年12月31日	平成26年3月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 1 月 1 日 至 平成25年 6 月30日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 1 月 1 日 至 平成26年 6 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	6円72銭	6円34銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	322,532	291,057
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	322,532	291,057
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	47,969,700	45,878,400

- ( 注 ) 1 . 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 . 当社は、平成26年 1 月 1 日付で株式 1 株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月13日

サイボウズ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧 野 隆 一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 和 充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。